

チャレンジ！子どもがふみだす 体験活動応援事業 「心のケアが必要な子ども（不登校等）を対象とした自然体験事業」

資料 4
教育庁 社会教育課

【事業概要】

福島県内3つの自然の家において、不登校等、心に不安を抱えている児童生徒を対象に、立地や気候等、それぞれの特性を活かしたプログラムをととした、自然体験活動や交流活動を実施。

郡山自然の家



今年度の活動内容 ※連携団体

宿泊体験活動（フィールドワーク等） 13名参加 ※フリースクール

アーチェリー、野外炊飯等 18名参加 ※郡山市総合教育センター

自然体験活動、ゲームプログラマー、イラストレーターの職業体験 20名参加

クリスマスリース体験 7名参加

児童生徒、保護者の不安や悩みへの助言などの支援

【福島県家庭教育支援チーム】

地域において主体的に「子育ての相談」「親の学びの場の提供」「地域の居場所づくり」等の家庭教育支援を行う。

県内で29チームの登録（令和7年1月現在）

各所の活動内容表の黄色で示した内容で連携

会津自然の家



今年度の活動内容 ※連携団体

笹団子づくり、シイタケ植菌体験等 15名参加

野外炊飯、カヌー体験 29名参加 ※NPO団体

宿泊体験活動（野外クッキング体験等） 23名参加

自然散策、ミニパフェづくり 3名参加 ※会津美里町教委

野外炊飯等 22名参加 ※子どもの居場所づくり団体

カヌー体験、焼板体験等 20名参加 ※NPO団体

炭焼き体験、芋判づくり等 17名参加

そば打ち体験、動物ふれあい体験 30名参加

いわき海浜自然の家



今年度の活動内容 ※連携団体

魚釣り、磯遊び、草木染め 16名参加

※いわき市総合教育センター

貝殻集め、貝の壁飾りづくり、スポーツ体験 2名参加

野外炊飯、貝の絵ろうそくづくり 13名参加

※いわき市総合教育センター

自然散策 3名参加

【参加した児童生徒・保護者の声】

- ☐ みんなで行動することの大切さを体験できた。
- ☐ フリースクールに通っているが、みんなの話が聞けて距離が縮まった。
- ☐ 我が子が、自然あふれる環境の中で他者とかかわりながらいきいき活動する姿を見て、とても感激した。
- ☐ 家庭教育支援チームの方に話を聞いてもらい、自分が間違っていないことを確信できた。
- ☐ 家庭教育支援チームの方から今後参考になる話が聞けたこと、自分の気持ちを吐き出させてもらったことに感謝。

【事業の成果】

- ・ 参加児童生徒一人一人に寄り添ったきめ細かな支援を大切に活動が進められた。
- ・ 何らかの理由で学校に登校できないなど、不安や悩みを抱える児童生徒の、学校以外の居場所創出ができた。
- ・ 他の保護者と交流する機会や家庭教育支援チームとの関わりを得ることで、保護者が子どもたちを取り巻く現状を理解したり、大きな力を得ることができた。

【今後の方向性】

- ・ 市町村教育委員会、学校、フリースクール、NPOとの連携を一層重視しながら事業を推進する。
- ・ 保護者が精神的な落ち着きを取り戻すことが、子どもの安心感につながることから、家庭教育支援チームとの連携も引き続き強化する。